

<p>教室の 実施状況</p>	<p>参加者さんの笑顔が素敵</p>   <p>参加者さんが話しやすいように当初は2本使っていたテーブルを今は1本にしています。</p> <p>教室の最後は、シメの「幸せのワルツ」で熱唱！！</p> <p>教室終了後、サポーターで当日の情報交換や次回担当者の打ち合わせをして、資料等準備をしています。</p> 
<p>参加者 意見交換会 結果</p>	<p>実施年月日 平成 24 年 12 月 11 日</p> <p>【よかったこと・参加して変わったこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前日から心の準備、段取りを組み昼食の用意をするなど、生活が規則正しくなった。 ・足の運びがよくなり、スーパーへ行きやすくなった。 ・サポーターさんのパワーをもらい元気になった。 <p>【改善・工夫点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教室については、多くの人が週1回で午前中の開催がちょうどいい。 ・パズルについては、今のままがいいという意見からもっと難しいものもいいとの意見がわかれた。 ・男性の参加者がほしい。 ・教室の周知について、回覧は町会に入っていないとみる機会がないのでマンションなどにビラを貼らしてもらう。 <p>【元気に過ごす為の工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よく歩く。みんなとおしゃべりをする。おしゃべりだけでなく人の話を聞きたい。 ・食べ物に気をつける。足への負担軽減のためやせる。
<p>サポーター の声</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者と道で会うと声をかけるようになった。 ・サポーターだけでなく、ボランティア(サポーターのサポーター)も参加してくれ助かっている。 ・地域の社会福祉協議会会長自ら可能な限りボランティアに来て状況を把握してくれている。 ・できる限り継続していきたいので、地域で常にどうするか考えている。 ・参加者から教わることも多い。
<p>今後の課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教室の運営にあたっては、会場費用や資料準備等地域での協力が欠かせない。 ・教室の教材については、ネタ切れにならない(マンネリ化しない)ように工夫が必要。 ・男性の参加者がいない。

IV 有効性の検証

1. 地域教室の検討

現在地域で行われている7か所のはつらつ脳活性化教室のうち、中津地区・済美地区・梅田東地区・大淀東地区の参加者の皆さんの協力を得て、教室参加前と6か月継続後に効果検討の調査を行った。地域教室の有効性については、今年度は各地域の調査に終始し、はつらつ脳活性化モデル教室の結果と同じような効果が地域教室でも期待できるかどうかを、現在分析中である。

実施地区	調査日①（開始前）	調査日②（6か月後）
中津地区	2011年9月20日/27日	2012年3月21日
済美地区	2012年2月29日/3月7日	2012年9月13日/20日
梅田東地区	2012年7月12日/19日	2013年2月7日/21日
大淀東地区	2012年9月20日	2013年3月13日

2. はつらつ脳活性化モデル教室継続調査

はつらつ脳活性化モデル教室2年後調査を2012年8月22日/24日/9月27日に行った。調査データについては、教室参加後の生活様式が多様であるため、教室継続者、中断者、活動継続者などの諸要素を考慮しながら、現在分析中である。

3. 参加者の心理的評価による検討

はつらつ脳活性化モデル教室への3か月の参加が及ぼす心理的影響について検討を行った。調査対象は、「はつらつ脳活性化モデル教室に3か月継続参加し、調査協力を得られた62名（男性14名、女性48名：平均年齢 74.6±5.0歳）である。

1) 結果

①【結果1】認知機能評価 HDS-R では、教室参加前平均 27.4±2.8点、参加後平均 27.3±3.1点であり、参加前と参加後で有意な差は認められなかった。[t(61)=0.2 p=0.818(n. s.)]

②【結果2】認知機能評価 MMSE では、教室参加前平均 26.9±2.9点、参加後平均 27.3±2.8点であり、参加前と参加後で有意な差は認められなかった。[t(61)=1.3 p=0.197(n. s.)]

③【結果3】Baum Test では、36項目の指標を抽出し、それぞれの指標について出現率を検討した。教室の参加前後で有意差が認められた指標は、①幹先端完全開放の減少 ($\chi^2(1)=3.76, p<.05$) ②幹基部の広がりのみ減少 ($\chi^2(1)=6.72, p<.01$) ③サイズ1/4以下の減少 ($\chi^2(1)=6.05, p<.01$) ④サイズ1/2以下の増加 ($\chi^2(1)=4.32, p<.05$)であった。